

# 京都バイオ産業技術フォーラム 第三回研究会

## 「食品の安全とバイオ」

ビジネスって？

食品の安全を守るバイオ



食品の安全を守るには？

### 京都バイオ産業技術フォーラム幹事(敬称略)

- 代表幹事 : 市野瀬浩 (京都商工会議所産学連携・新産業推進特別委員会委員長, 日本新薬(株)取締役会長)
- 副代表幹事 : 牧野圭祐 (京都大学国際融合創造センター教授)  
谷口吉弘 (立命館大学理工学部教授)  
前田拓巳 (京都工業会, (株)島津製作所技術推進部長)
- 幹事 : 赤池昭紀 (京都大学大学院薬学研究科教授)  
井上國世 (京都大学大学院農学研究科教授)  
金久實 (京都大学化学研究所教授)  
加納航治 (同志社大学工学部機能分子工学科教授)  
亀井加恵子 (京都工芸繊維大学繊維学部助教授)  
桜井弘 (京都薬科大学代謝分析学教授)  
白川太郎 (京都大学大学院医学研究科教授)  
杉浦幸雄 (京都大学化学研究所教授)  
中田博 (京都産業大学大学院長、工学部教授)  
藤田典久 (立命館大学情報理工学部教授)  
村上章 (京都工芸繊維大学繊維学部教授)  
吉川敏一 (京都府立医科大学教授)  
熊澤保夫 (和研薬(株)代表取締役社長)  
杉浦正和 (三洋化成工業(株)医療産業分社分社長)  
安部康久 (月桂冠(株)専務取締役製造本部長)  
伊藤哲郎 (近畿経済産業局産業企画部産学連携推進課バイオインダストリー振興室長)  
山下晃正 (京都府商工部産業活力支援総括室産業支援総括室長)  
白須正 (京都市産業観光局スーパーテクノロジー推進室長)

### 入会案内

京都バイオシティ構想ホームページ

URL: <http://www.astem.or.jp/biocity/>

### お問い合わせ

(財)京都高度技術研究所 京都バイオ産業技術フォーラム事務局  
担当: 神谷, 竹内 TEL: 075-315-3642

京都市産業観光局スーパーテクノロジー推進室  
担当: 萩原, 泊 TEL: 075-222-3434

日時: 平成 16 年 6 月 21 日(月) 14:00 ~ 17:20

於: 京都リサーチパークサイエンスホール

主催: 京都バイオ産業技術フォーラム、京都市、京都商工会議所、  
内閣府食品安全委員会、日本予防医学リスクマネジメント学会

後援: 近畿経済産業局、近畿農政局、京都府、京都工業会、京都産学公連携機構、  
(財)京都市中小企業支援センター

## プログラム

14:00～14:05 開会挨拶

市野瀬浩 (京都商工会議所産学連携・新産業推進特別委員会委員長, 日本新薬株式会社取締役会長)

14:05～14:15 本研究会の目的・意義

「食の安全を確保するために必要なこと～バイオ企業のビジネスチャンス」

白川太郎 (京都大学大学院医学研究科教授、京都バイオ産業技術フォーラム幹事)

14:15～16:30 講演

講演 「安全な食品と危険な食品」

唐木英明氏 (内閣府食品安全委員会専門委員, 東京大学名誉教授)

講演 「食品安全のこれから」

一色賢司 (内閣府食品安全委員会事務局次長)

～休憩～

講演 「食品安全の実際」

森田邦雄氏 ((財)日本冷凍食品検査協会常勤顧問、元厚生労働省東京検疫所所長)

講演 「食の安全を確保するために望むこと」

伊藤潤子氏 (コープこうべ理事、日本生協連理事)

16:30～17:15 フリーディスカッション

会場からの質疑を受けながら、ディスカッションをしていただきます。

パネラー: 白川太郎、唐木英明氏、一色賢司、森田邦雄氏、伊藤潤子氏

17:15～17:20 閉会挨拶

白須正 (京都市産業観光局スーパーテクノシティ推進室長)

17:30～ 交流会 於ASTEM 10F

交流会費 2,000円

## 講演者プロフィール

白川 太郎

昭和58年に京都大学医学部卒業、医師免許取得、同年京都大学胸部疾患研究所付属病院第一内科入局、大阪大学医学部環境医学教室助手を経て、平成11年に、中華人民共和国江蘇省南京医科大学国際鼻アレルギーセンター分子アレルギー学部門客員教授に就任、平成12年京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻健康要因学講座健康増進行動学教授、連合王国ウェールズ大学医学部大学院実験医学部門客員教授、平成13年理化学研究所遺伝子多型センター・機能関連グループ・チームリーダーに就任し、現在に至る。

唐木 英明氏

昭和39年に東京大学農学部獣医学科卒、助手、助教授を経て教授、獣医薬理学講座担当、東京大学アイソトープ総合センター長、日本学術会議会員に就任する。専門は化学物質や食物の作用の研究。日本獣医学会、日本薬理学会、日本トキシコロジー学会、日本アイソトープ協会などの理事長、理事を歴任する。現在は東京大学名誉教授、内閣府食品安全委員会専門委員として活躍している。

一色 賢司

昭和50年に九州大学大学院農学研究科修士課程終了後、北九州市環境衛生研究所に勤務、平成2年農林水産省食品総合研究所食品保全部腐敗防止研究室室長に転職する。平成10年にお茶の水女子大学大学院人間文化研究科教授併任、独立行政法人食品総合研究所企画調整部食品衛生対策チーム長を経て、平成15年内閣府食品安全委員会事務局次長に就任し、現在に至る。

森田 邦雄氏

昭和41年に帯広畜産大学獣医学科卒業、獣医師、同年4月、北海道森保健所に勤務、旭川保健所、北海道衛生部食品衛生課を経て、昭和51年に厚生省環境衛生局乳肉衛生課に勤務、生活衛生局乳肉衛生課課長補佐、食品衛生課課長補佐を経て、平成3年食品衛生課輸入食品企画指導官、平成6年に乳肉衛生課長、平成12年に厚生省(平成13年から厚生労働省)東京検疫所所長、平成16年に厚生労働省退職、同年4月に(財)日本冷凍食品検査協会、常勤顧問として勤務、現在に至る。

伊藤 潤子氏

昭和45年名古屋大学法学部卒業後、神戸市役所に入所。昭和48年に退職。平成6年にジェットロインポートスクエアにて、個人輸入アドバイザーとなる。平成7年コープこうべにおいて「食の安全研究会」座長、「遺伝子組換え食品研究会」委員、「環境ホルモン研究会」座長、「食品衛生法改正を求める署名実行委員会」委員長を務め、平成9年に生活協同組合コープこうべ理事(担当:商品開発、食の安心・安全)、平成13年日本生活協同組合連合会理事に就任、現在に至る。